

## 事業概要シート

施策	2101	効率的な行政運営の推進	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	地理情報システム整備事業		拡充	8,824 千円
事業期間	平成14年度 ~		予算額	《 3,082 》千円
根拠法令 要綱等			財源内訳	国庫支出金 2,871 千円
				県支出金 千円
				地方債 千円
				その他 70 千円
				一般財源 5,883 千円

### 【事業の目的・概要・対象】

#### （目的）

各課の地図情報を共有・活用することによる事務の効率化、コスト削減及び保管スペースの削減等を図る。また、その情報の活用や市民への情報を提供することにより市民サービスの向上を図る。

#### （概要）

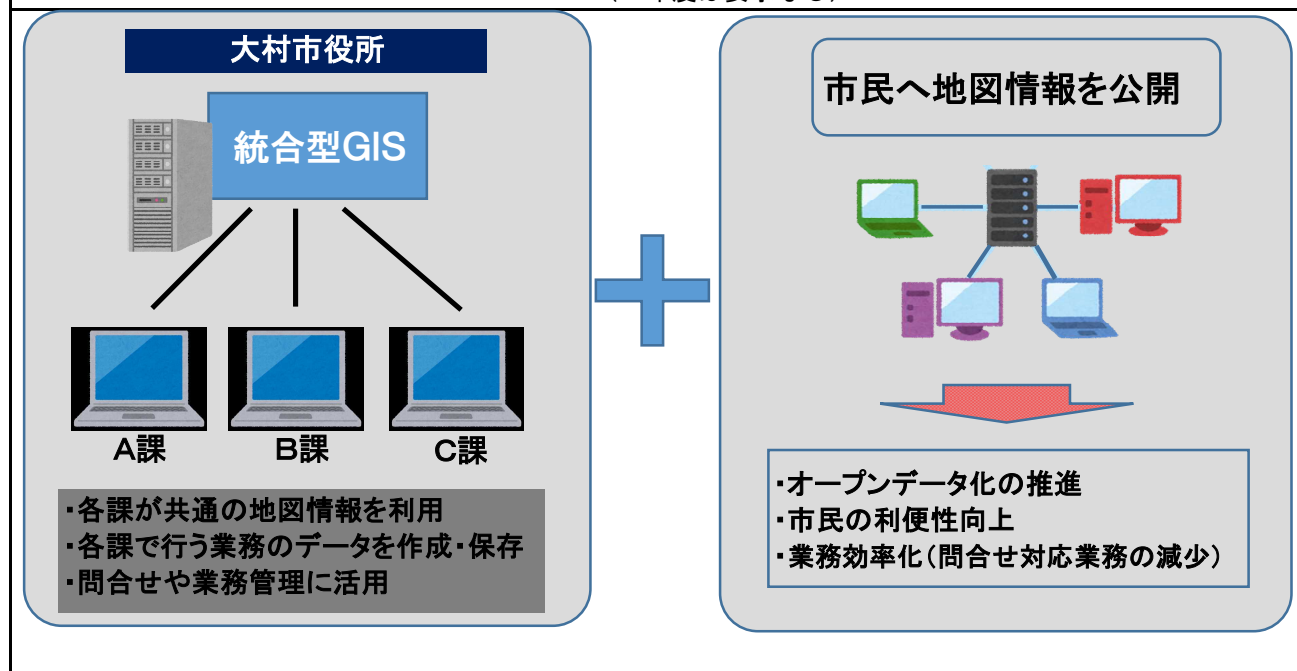
- ・システム機器の保守管理
- ・ユーザーレイヤー（地理情報）の拡充
- ・職員研修の開催
- ・統合型地理情報システム、庁外配信システムの構築

#### （対象）

市職員・市民・市内事業者等

#### <拡充分経費内訳>

- ・公開型地理情報システム構築費用 5,742千円
- ・ " 保守運用費 1,320千円（110千円×12カ月）  
（R5年度は要求なし）



### 【背景】

市における統合的な地理情報の利用及びコスト削減の観点から、H18年度に統合型地理情報システム（GIS）を導入した。また、H27年度にシステムの老朽化やセキュリティ上の問題から、ハード・ソフトの更新を実施した。その後、R2年度にシステムの再構築及びデータセットアップを行うことを目的として、庁内にサーバ機器一式を設置し、システムの構築を行った。

今後はGISのオープンデータ化による市民の利便性向上や更なる業務効率化について検討が求められている。

担当課	企画政策部企画政策課	課長	石山 光昭
担当者	鳥越 孝也	問合せ先	0957-53-4111（内線229）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名			単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	公開レイヤーの数	計画値	本	2,728	2,800	2,800	2,800	2,800
②	職員向け研修の開催	計画値	回	2	2	2	2	2

### 【成果指標】

指標名			単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	統合型地理情報システムへのアクセス数	計画値	件	16,680	23,000	23,000	23,000	23,000
②	公開型地理情報システムへのアクセス件数	計画値	件	—	—	—	500	800

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
事業費	3,194	3,081	3,082	8,824	4,402	4,402	26,985
国庫支出金				2,871			2,871
県支出金							0
地方債							0
その他		59	72	70			201
一般財源	3,194	3,022	3,010	5,883	4,402	4,402	23,913
人件費	1,755	1,164	2,982	2,982	2,982	2,982	14,845
職員(人)	0.24人	0.16人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人	2.04人
時間外勤務(h)	5h						5h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	4,949	4,245	6,064	11,806	7,384	7,384	41,830

妥当性 (市の関与)	市の業務の効率化を図るものであり、市の関与が必要である。
有効性 (施策貢献度)	各課が所有している地理情報をデータ化しシステム上で一元的に管理し共有することは、事務の効率化につながる。
効率性 (コスト)	データセットアップやシステム保守の費用については、当該システムを構築し精通した業者でのみ保守が可能であり、コストを見直す余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価記載のとおり